

令和7年度  
第2回 丹波篠山市社会教育委員・  
公民館運営審議会資料

令和7年10月30日

令和7年度 社会教育・文化財課 主な事業の進捗状況（令和7年10月8日現在）

事業	社会教育委員の会議開催・活動等
状況	社会教育委員会議・公民館運営審議会の開催（年2回 6/24・10/30）、県社会教育委員協議会総会・研修会（6/3）、近畿地区社会教育研究大会（9/5 ※中止）、丹波地区社会教育委員研修会（10/14・11月頃予定）
事業	国際理解・外国人住民への支援
状況	国際理解教育プログラム、日本語教室うりぼう、学習支援教室うりぼうくらの運営を国際理解センターに委託し実施
事業	障がい者社会学級の運営支援
状況	くすの木学級（対象：聴覚・言語障害のある方） 年4回中3回開催。学級生14名（内、丹波篠山市民10名） 人権学習、囲碁ボール体験 等 青い鳥学級（対象：視覚障がいのある方） 年5回中4回開催。学級生19名（内、丹波篠山市民8名） 料理教室、ボッチャ体験 等
事業	丹波篠山市展
状況	実行委員会1回開催（7/30） 事業計画等の策定、募集要項・ポスター配布等 開催日程：11月16日（日）～22日（土）
事業	子どもの居場所づくり事業
状況	トライしようDAY 5団体（篠山、八上、城東、多紀、西紀南） 通学合宿（古市地区）
事業	市PTA協議会・市青少年協議会、市子ども会連絡協議会等の活動支援
状況	各団体において会議や研修会等が開催された。 市PTA協議会 各学校園PTAの活動に注力できるような支援を行う市PTA協議会としての活動を見直し（LINEオープンチャットによる双方向の情報共有、新役員のためのマニュアル作成、意見交換会の実施等） 市青少年連絡協議会 研修会「スマホと子どもに“向き合う力”を育てる～禁止ではなく、関係性で支える方法～」開催（9/6） 青少年協議会の在り方について協議を行う（通年） 市子ども会連絡協議会 オセロ大会の開催（8/3）
事業	スポーツ活動の充実と推進
状況	市スポーツ推進委員会 体力測定会の開催（9/6）等

	<p>スポーツ振興官</p> <p>崎本ソフトボール大会 (5/3～5/5)、</p> <p>ソフトボール韓国代表チーム招聘 (6/20～6/23) 篠山産業高校野球部指導 等</p> <p>TAMBASASAYAMAライジングスター育成事業</p> <p>神戸ストークス (Bリーグ) バスケットボール教室 (7/29)</p> <p>丹波篠山ABCマラソン (R8.3.1開催)</p> <p>新たな取り組み (参加賞の刷新、海外枠 等)</p> <p>現在参加者募集中 (申込 10/1～12/20)</p> <p>他、各種団体活動の運営支援等</p>
事業	西紀運動公園、丹波篠山総合スポーツセンターの管理・運営
状況	安心安全な施設として運営を委託し実施 (指定管理者による管理)。

# 令和7年度 中央公民館事業の実施状況について

令和7年10月8日現在

事業区分	事業名または団体名	事業概要・コース等	当初開催予定	開催状況	備考(変更等の内容)
自主事業	高齢者大学	7学園(あおやま、かやのみ、羽束、たき、しゃくなげ、たんなん、さぎそう)	5～3月、各月1回、各学園講座年間8回(6月～2月)開催、受講生数814名 合同開講式、グラウンド・ゴルフ大会、学校連携事業、学習発表会、合同開講式	開催中	
	丹波ささやま市民文化講座	座学、現地学習	6～12月、各月1回開催、定員150名	開催中	
	丹波ささやまおもしろゼミナール	現地学習	6～12月、各月1回開催、各回定員25名 6/18(水)21名、9/17(水)24名、10/7(火)28名	開催中	
	丹波ささやまおもしろこどもデイキャンプ	対象:小学校中学年から高学年 自然の中で豊かな実体験や人との交流	6月8日(日)実施。30名参加	開催済	
	古文書講座	初級編、中級編	初級編6～10月・44名、中級編11～3月・41名、各月1回開催	開催中	中級編は11月から開講
	郷土味学講座	創造コース、伝承・基礎コース、伝承・応用コース	5～2月、各コース5回開催、各コース定員40名	開催中	
	かぞくdeおいしんぼクッキング	学校給食編、スイーツ編、カフェ編、匠編	給食編7/23(水)、7/24日(木)の2回各回60名 公民館主催分8/1(金)、8/8(金)、8/19(火)の3回各回40名	開催済	
	丹波篠山公民館まつり	公民館ご利用団体等の発表・展示、活動体験の場の創出、市民間交流や市民活動活性化、公民館施設のPR、利用促進を図る。	3月15日(日)開催 場所:四季の森生涯学習センター	開催予定	
	四季の森音楽祭	屋外音楽イベントステージ出演、キッチンカーによる国際色豊かな食のイベント。多世代間交流、公民館施設のPR、利用促進を図る。	10月12日(日)開催 場所:四季の森生涯学習センター	開催予定	
桶ツト卓球世界大会in丹波篠山	「丹波篠山国際博」開催記念事業。 丹波篠山市発祥のニュースポーツ「桶ツト卓球」を通じて、市民の方々をはじめ国内外の方々との交流と丹波篠山市の魅力をPRする。	2月22日(日)開催 場所:四季の森生涯学習センター	開催予定		
委託事業	文化の祭典	市全体	展示9/19～9/21、芸能発表11/30	開催済(展示) 開催予定(芸能)	
		篠山地区	11/1～11/3、展示及び芸能発表	開催予定	
		城東地区	11/1～11/3、展示及び芸能発表	開催予定	
		多紀地区	11/1、展示及び芸能発表	開催予定	
		西紀地区	11/3、展示及び芸能発表	開催予定	

事業区分	事業名または団体名	事業概要・コース等	当初開催予定	開催状況	備考(変更等の内容)
		丹南地区	11/2～11/3、展示及び芸能発表	開催予定	
		今田地区	10/25～10/26、展示及び芸能発表	開催予定	
	はたちのつどい	旧成人式	1/11(日)	開催予定	

事業区分	事業名または団体名	事業概要・コース等	当初開催予定	開催状況	備考(変更等の内容)		
支援事業	今田元旦マラソン		1/1(木・祝) 上立杭交流館つぼねがさ周辺コース	開催予定			
	体育振興会	市全体	新春駅伝大会	1/18(日)、黒豆の館周辺、市内各チーム	開催予定		
			篠山地区市民体育祭	5/18(日)、篠山小学校運動場	雨天中止		
		篠山	岡野幼小地区合同大運動会	5/24(土)、岡野小学校運動場	開催済 (半日開催)		
			城北スポーツフェスティバル	5/25(日)、城北畑小学校運動場	開催済		
			みたけの里運動会	9月	中止		
			八上スポーツフェスティバル	10/4(土)、八上小学校運動場	雨天中止	小学校(幼稚園)運動会終了後に開催	
			城東	バラエティスポーツフェスタin城東 2025	10/5(日)、城東グラウンド、B&G海洋センター体育館	開催済	雨天のため体育館種目のみ実施
			多紀	多紀地区体育祭	10/4(土)、多紀小学校運動場	雨天中止	小学校運動会終了後に開催
		西紀	西紀スポーツ祭	5/25(日)、西紀中学校	雨天中止	西紀スポーツ祭とインドアスポーツ大会を隔年開催 (R6は卓球)	
		丹南	古市地区市民親睦運動会	10/13(月・祝)、古市小学校運動場	開催予定		
			城南地区体育祭	9月21日(日)、城南小学校運動場	開催済		
			ふれあいポッチャ大会大山2025	10/4(土)、大山小学校体育館	中止	小学校運動会終了後に開催 雨天により10/5に順延、10/5も雨天のため中止	
			味間地区グラウンド・ゴルフ大会	9月28日(日)、四季の森運動公園グラウンド	開催済		
		今田	今田わくわくスポーツフェスティバル2025	11/16(日)、今田グラウンド、今田体育館、今田テニスコート	開催予定		
		文化協会	市全体	観月園遊会	9/10(水)、四季の森生涯学習センター	開催済	

※「開催」としている事業についても、今後の状況に応じて変更となる場合があります。

## 令和8年度 社会教育・文化財課事業計画一覧(現状・課題と方向性)

### 【旧生涯学習係事業】

<b>事業</b>	<b>社会教育委員の会議運営【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□さまざまな社会教育事業の立案、助言等を行うための組織として会議開催と特にテーマや課題を絞って研究する調査研究部会を設置している。また、県関係団体や丹波地区での会議や研修会にも参加している。
<b>方向性</b>	□より社会教育委員の意見を市各種施策に反映できるよう、会議の進め方等について改善を図りながら、活性化に努める。 □課題整理や事業提案など主体的な調査研究への支援を行う。

<b>事業</b>	<b>国際理解・外国人住民への支援【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□外国人労働者や研修生等の外国人住民の増加にともない、関係機関と連携し、日本語教室・学習支援教室のさらなる充実を図り、教育的支援の取り組みを行う。 □関係課と協議を行い、市としての国際理解・外国人住民への支援の方向性を固める必要がある。
<b>方向性</b>	□国際理解・国際交流推進事業として国際理解センターへの業務委託を行い、各国の習慣や文化等について学ぶ機会(国際理解教育プログラム)の提供、日本語教室うりぼう、学習支援教室うりぼうくらぶの開催に取り組む。 □日本語教室うりぼう、学習支援教室うりぼうくらぶの実施にあたっては、アンケート調査を行い、日本語習熟度等を測る工夫を行う。また、受講者に応じた充実した学習支援ができるように努める。

<b>事業</b>	<b>障がい者社会学級の運営支援【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□兵庫県の委託事業として、障がい者が社会参加する貴重な機会として、視覚障がい者の方を対象とした「丹波青い鳥学級」、聴覚や言語障がいのある方を対象とした「丹波くすの木学級」の継続的な事業運営支援を行っている。学級生やボランティアの方々と相談しながら、満足度が高まるような学級運営を進める。
<b>方向性</b>	□令和8年度は本市では丹波くすの木学級の事務局を担う。その中で、学級生やボランティアの方々と相談し、参加者がより主体的な活動を行うよう促し、社会参加の一助となるような支援を行う。 また、学級生の要望に応えるだけでなく、社会の変化に応じた学習機会を事務局主導で組み込んでいく。

<b>事業</b>	<b>丹波篠山市展【見直し】</b>
<b>現状・課題</b>	□丹波篠山市展は、市内外の芸術家の作品を展示することにより、市民が芸術文化に触れる機会を創出している。今後は、第20回を契機に、市民がより多くの作品を出展できるよう取組みます。
<b>方向性</b>	□より市民にスポットが当たるような工夫を行う。また、市民文化祭等との関係性を整理する。

<b>事業</b>	<b>市PTA協議会・青少年協議会等の活動支援【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□青少年協議会、PTA協議会、子ども会連絡協議会との連携のもと、青少年健全育成の取組を推進している。 □社会や個人のライフスタイル、働き方等の変化に伴い、団体のあり方を考え直す必要が出てきている。
<b>方向性</b>	□変化に合わせた団体運営を行うため、構成員と対話を重ねながら、団体のこれからのについて検討を行う。

<b>事業</b>	<b>子どもの居場所づくり事業【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	<input type="checkbox"/> 学校、家庭、地域が連携し実施する「トライしようDAY」「通学合宿」「放課後子ども教室」を通して、子どもの非認知能力の育成や地域住民の生きがいづくりを行っている。 <input type="checkbox"/> 担い手不足や参加者の固定化が課題。
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 「トライしようDAY」「通学合宿」「放課後子ども教室」を引き続き実施する。 <input type="checkbox"/> 丹波篠山のこれからを担う人材の育成を視野に入れながら、事業を実施する。

<b>事業</b>	<b>地域学校協働活動推進員の配置【新規】</b>
<b>現状・課題</b>	
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進するため、地域学校協働活動推進員を配置する。 <input type="checkbox"/> 地域と学校のつなぎ役として地域学校協働活動推進員が機能するよう、学習機会を提供する。 <input type="checkbox"/> 学校支援だけを目的としない地域と学校の連携・協働の在り方を模索する。

### 【旧スポーツ振興係事業】

<b>事業名</b>	<b>保健体育総務【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	<input type="checkbox"/> スポーツは、健康を増進し、人生を豊かにするとともに、明るく活力に満ちた社会の形成に不可欠なものである。市民だれもが、それぞれの年齢や体力に応じて、スポーツを楽しむことができる体制や環境を整備することが求められている。 <input type="checkbox"/> 各種スポーツ団体の構成員の減少に伴うスポーツ団体運営上の負担が増加し、スポーツ団体の運営が困難になっており、マネジメント担当者及び指導者の養成が課題になっている。
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> スポーツを通じた健康づくりと誰もが取り組めるスポーツの普及・啓発を行うため、各種団体等と連携し活動を推進する。 <input type="checkbox"/> 中学校部活動の地域展開の受け皿となる団体等の支援について検討を進める。

<b>事業名</b>	<b>西紀運動公園管理【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	<b>丹波篠山総合スポーツセンター管理費【継続】</b> <input type="checkbox"/> 丹波篠山総合スポーツセンター、西紀運動公園を活用し、市民の健康増進を図る。
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 指定管理者による健全な運営と安全安心な施設管理を目指す。 <input type="checkbox"/> 各施設の指定管理者と連携し、各種スポーツ団体やスポーツクラブ21のマネジメント担当や指導者の育成を図る。 <input type="checkbox"/> 市民の健康増進を図るため、指定管理者が行う自主事業を積極的に支援。

## 地域学校協働活動推進員設置に係る資料

### 〇背景と目的

人口減少や少子高齢化など、今日の社会は急速に変化しており、その対応が急務となっています。学校教育においてもその影響が顕著であり、教育ニーズの多様化や学習指導要領改訂に伴う社会に開かれた教育課程の実現、部活動の地域展開など、従来の学校という枠組みだけでは対応しきれない課題が出てきています。また、地域においても同様に、担い手不足や地域コミュニティの希薄化など、地域が存続の危機に陥っています。

一方で、令和5年6月16日に閣議決定された第4期教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）において、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が謳われるなど、地域と学校の連携・協働がより一層重要となってきています。

そこで、地域と学校が連携・協働することを通して、共に学び合う関係性をつくりながら、子どもの学びを支え、持続可能な地域や担い手の育成が必要です。そのために地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」を配置します。

### （第4期教育振興基本計画【概要】（令和5年度～令和9年度））

第4期教育振興基本計画【概要】（令和5年度～9年度）		令和5年6月16日 閣議決定
我が国の教育をめぐる現状・課題・展望		
教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不届）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行） 【社会の現状や変化】 ▶ 教育振興基本計画は予測困難な時代における教育の方向性を示す羅針盤となるものであり、教育は社会を牽引する駆動力の中核を担う営み ・新型コロナウイルス感染症の拡大 ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化 ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性） ・少子化・人口減少や高齢化 ・グローバル化・地球規模課題 ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素） ・共生社会・社会的包摂 ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング） ・18歳成年・子ども基本法 等		
第3期計画期間中の成果		第3期計画期間中の課題
・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善 ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、連携・統合のための体制整備 ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化 等		・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞 ・不登校・いじめ重大事態等の増加 ・学校の長時間勤務や教師不足 ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化 ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷 ・博士課程進学率の低さ 等
計画のコンセプト		
<b>2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成</b> ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが <b>社会の創り手</b> となり、課題解決などを通じて、 <b>持続可能な社会</b> を維持・発展させていく ・ <b>社会課題の解決</b> を、経済成長と結び付けて <b>イノベーション</b> につなげる取組や、一人一人の <b>生産性向上</b> 等による、 <b>活力ある社会の実現</b> に向けて「 <b>人への投資</b> 」が必要 ・ <b>Society5.0</b> で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成		<b>日本社会に根差したウェルビーイング（※）の向上</b> ・多様な個人それぞれが <b>幸せや生きがい</b> を感じるとともに、 <b>地域や社会が幸せや豊かさ</b> を感じられるものとなるための教育の在り方 ・幸福、 <b>学校や地域でのつながり</b> 、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等が含まれ、協働的幸福と獲得的幸福のバランスを重視 ・ <b>日本発の調和と協調（Balance and Harmony）</b> に基づくウェルビーイングを発信 <small>※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。</small>
今後の教育政策に関する基本的な方針		
<b>① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成</b> ・主体的に <b>社会の形成</b> に参画、持続的 <b>社会の発展</b> に寄与 ・「 <b>主体的・対話的で深い学び</b> 」の視点からの授業改善、大学教育の <b>質保証</b> ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進 ・グローバル化の中で <b>留学等国際交流</b> や大学等国際化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進 ・ <b>リカレント教育</b> を通じた高度人材育成	<b>② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進</b> ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による <b>多様な教育ニーズへの対応</b> ・支援を必要とする子供の <b>長所・強みに着目</b> する視点の重視、 <b>地域社会の国際化</b> への対応、 <b>多様性、公平・公正、包摂性（DE&amp;I）</b> ある <b>共生社会の実現</b> に向けた教育を推進 ・ <b>ICT等の活用</b> による学び・交流機会、アクセシビリティの向上 人生100年時代に <b>複線化する生涯</b> にわたって <b>学び続ける学習者</b>	<b>③ 地域や家庭と共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進</b> ・ <b>持続的な地域コミュニティの基盤形成</b> に向けて、 <b>公民館等の社会教育施設の機能強化</b> や <b>社会教育人材の養成と活躍機会</b> の拡充 ・ <b>コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進</b> 、家庭教育支援の充実による <b>学校・家庭・地域の連携強化</b> ・ <b>生涯学習</b> を通じた自己実現、 <b>地域や社会への貢献</b> 等により、 <b>当事者</b> として <b>地域社会の担い手</b> となる
④ 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進		
<b>DXに至る3段階</b> （電子化→最適化→新たな価値（DX））において、第3段階を見据えた、 <b>第1段階から第2段階への移行</b> の着実な推進	<b>GIGAスクール構想</b> 、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進	教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、 <b>教育データの分析・利活用</b> の推進
⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話		
<b>学校における働き方改革</b> 、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進、ICT環境の整備、経済状況等によらない学び確保	<b>NPO・企業等多様な担い手</b> との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保	<b>各関係団体・関係者（子供を含む）との対話</b> を通じた計画の策定等

### ○地域学校協働活動推進員とは

地域住民とその他の関係者の参画を得て、学校と地域が協働して行う活動を推進する人材。

(社会教育法第5条第2項)

地域と学校の「つなぎ役(コーディネーター)」として、地域住民、団体、企業、行政などの多様な主体と学校を結びつけ、地域学校協働活動を組織的・継続的に進める中核的人材。

(文部科学省「地域学校協働活動の推進に関する手引き」)

### ○推進員の役割

#### **地域と学校のつなぎ役**

- ・ 地域と学校の関係性づくりに関する活動
- ・ 地域、学校の課題解決に必要な連絡調整に関する活動

### ○配置の概要

#### ①推進員の委嘱について

- ・ 1小中学校区に1名
- ・ 学校運営協議会で協議のうえ、学校長が推薦した者に対し、教育委員会が委嘱を行う

#### ②推進員連絡会について

継続的な支援を行うため、推進員連絡会を設置し、学習機会を提供します。

例：研修会、課題解決ワークショップなど

※教育委員会の社会教育主事が中心となり、推進します。

### ○予算

推進員謝金：20名×1,116円/時×30時間=669,600円

研修講師謝金：30,000円×3名=90,000円

※「学校を核とした地域連携促進事業費補助事業」を活用します。

※学校運営協議会予算100,000円のうち、30,000円を推進員予算として計上します。

### ○期待される効果

- ①地域資源を活かした体験活動等により、学びの幅が広がる
- ②地域住民と関わることにより、子どもの非認知能力が向上する
- ③学習指導要領の理念「社会に開かれた教育課程」の実現に近づく
- ④地域と学校が連携・協働し、課題解決学習に取り組むことで、持続可能な地域づくりにつながる
- ⑤あたたかい人のつながりができる

## 令和8年度 公民館事業計画一覧(現状・課題と方向性)

### 【自主事業】

<b>事業名</b>	<b>丹波篠山市高齢者大学の充実【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□高齢者が積極的に人との交流を図り、いつまでも元気で生きがいを持って社会に参画することのできる生涯学習環境を整える必要がある。
<b>方向性</b>	□ 高齢者が自らの生きがいを創造することを支援し、「であい・ふれあい・まなびあい」の場を提供し、積極的な社会参加をめざす。 5月に合同開講式を開催し、一般教養講座・趣味講座を6月～2月で年間8回開催する。 学校連携事業を実施する。(学園により実施時期が異なる) 11月にグラウンド・ゴルフ大会を実施する。 3月に、市内7学園の受講生が一同に集まる合同学習発表会を開催し、学習成果の発表を行う。 学園ごとに運営委員を選出していただき、講座内容の充実、学園間の調整などを進める。

<b>事業名</b>	<b>丹波ささやま市民文化講座の実施【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□丹波篠山市は、全国的に見ても貴重な歴史の宝庫であり、独自の文化や自然にあふれているが、その魅力はまだ十分に明らかにされていない。これらを専門の知識を持つ講師が鋭く掘り起こし、市民に正しく伝えることにより、地域の貴重な財産である文化財を大事にする心を養うだけでなく、郷土愛を育む機会を提供する必要がある。
<b>方向性</b>	□日本遺産のまちとしてのすばらしさを学ぶ講座を開講することにより、郷土を愛し、その魅力を発信できる人材を育成する。講座のサポーターがより積極的に講座の企画運営に取り組めるように支援し、受講者が丹波篠山の多様な文化の魅力を学ぶことのできる講座内容にしていく。

<b>事業名</b>	<b>丹波ささやまおもしろゼミナールの実施【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□丹波篠山市は、全国的に見ても貴重な歴史の宝庫であり、独自の文化や自然にあふれているが、その魅力はまだ十分に明らかにされていない。これらを専門の知識を持つ講師が鋭く掘り起こし、市民に正しく伝えることにより、地域の貴重な財産である文化財を大事にする心を養うだけでなく、郷土愛を育む機会を提供する必要がある。
<b>方向性</b>	□丹波篠山の魅力にあふれた場所を巡り、郷土愛を育む講座を開催し、講座を企画運営しているサポーターとともに、受講者の丹波篠山に関する歴史・自然・文化への関心を一層深める内容にしていく。それにより、丹波篠山の魅力を伝えられる人材の育成と活動の場を提供する。また「丹波ささやまおもしろ子どもデイキャンプ(対象:小学生3～6年以上)」を開催し、自然を学び、失敗しながら新たな答えを見つける体験や人とつながる場の機会を提供し、地元愛を育む。

<b>事業名</b>	<b>古文書講座の実施【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□丹波篠山市は、全国的に見ても貴重な歴史の宝庫であり、独自の文化や自然にあふれているが、その魅力はまだ十分に明らかにされていない。これらを専門の知識を持つ講師が鋭く掘り起こし、市民に正しく伝えることにより、地域の貴重な財産である文化財を大事にする心を養うだけでなく、郷土愛を育む機会を提供する必要がある。
<b>方向性</b>	□令和3年度に再編した「初級編」と「中級編」の2コースを開催し、継続して学べる講座とする。これにより、古文書解読を通して、丹波篠山の歴史に関心を深め文化財を大切にすることを育むだけでなく、市史編纂事業や文化財保護活動で活躍できる人材を育成する。 また、年間の講座資料をまとめた教材を市史編纂や個人の研究資料として活用するとともに、教材を通じて市内のみならず市外の方に対しても丹波篠山の歴史や文化に対して興味を持ってもらえる契機にする。

<b>事業名</b>	<b>郷土味学講座の実施【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□丹波篠山市の豊かな農産物は、多くの郷土料理の食材として、広く使われてきた。この豊かな自然にはぐくまれた丹波篠山の食文化を絶やすことのないように若い世代に伝えていく必要がある。
<b>方向性</b>	□丹波篠山の食材を使い、その活用と新しい食文化を創造することを学ぶ①創造コース、郷土料理を実際に作れる人を増やし、次世代へ丹波篠山の食文化を伝えるリーダーとして学ぶ②伝承・基礎コース、③伝承・応用コースの3コースを開催し、郷土料理の学びの場を提供する。郷土料理レシピ集「よろしゅうおあがり」と「よろしゅうおあがりⅡ」を活用し普及・啓発をすすめる。

<b>事業名</b>	<b>かぞくdeおいしんぼクッキングの実施【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□価値観の多様化などで家族が生活のリズムを共有することが難しくなり、家族がそろって食事することが減ったことで、命をいただく「いただきます」の言葉や「食べ残しをしない」「茶碗を持つ」など、感謝の心や、マナーなどを伝えていく場が少なくなり、家庭での食育の機能の向上を図ることが課題となっている。
<b>方向性</b>	□子育て世代の健全な食生活の推進と、家庭の食育力を高めるために、食に携わる人々の活動と、地域の農産物を使用して丹波篠山の豊かな恩恵について理解を深めるため、家族で学べる食育の場を提供する。

### 【啓発事業】

<b>事業名</b>	<b>学習情報の提供【拡充】</b>
<b>現状</b>	□公民館をよく知って身近に感じ、自らの生涯学習に役立ててもらうため、公民館事業など生涯学習に関わるあらゆる情報を提供する。
<b>方向性</b>	□公民館だよりを、丹波篠山市広報に挿み込みで発行、全戸配布する。また、ホームページにより、公民館に関わる情報提供も行う。また、公民館まつりを開催し、社会教育施設をご利用いただいている団体による、ワークショップや発表・展示などを実施し、生涯学習の機会の創出を図る。

### 【委託事業】

<b>事業名</b>	<b>文化の祭典【継続】</b>
<b>現状</b>	□丹波篠山市民の文化的意識の高揚を図るとともに、地域の活性化と郷土の飛躍に繋げることを目的として、市民の作品展示や芸能発表を中心とした文化の祭典を開催する。
<b>方向性</b>	□丹波篠山市民文化祭及び篠山・城東・東雲・西紀・丹南・今田の各地区において、作品展や芸能発表を中心とした文化の祭典を開催する。

<b>事業名</b>	<b>「はたちのつどい」の開催【継続】</b>
<b>現状・課題</b>	□満20才の門出を祝う式典を開催し、郷土愛を育み、大人としての自覚を促す。
<b>方向性</b>	□丹波篠山市では満20才になる年齢を対象とし、思い出に残る式典になるよう、対象の若者による実行委員会を組織して自主的な企画・運営を行うことにより、委員が自ら考え行動する能力を高め、生きる力を育む。

## 【支援事業】

<b>事業名</b>	<b>社会教育関係団体支援等【継続】</b>
<b>現状</b>	□市民が、スポーツや文化活動などを通じていきいきとした生活を送れるよう、各種団体の支援を行う。
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 体育振興会 市体振連絡協議会及び各地区体育振興会(篠山・城東・多紀・西紀・丹南・今田)の支援を行う。 <input type="checkbox"/> 文化協会 市文化協会及び各地区文化協会(青山・城東・東雲・西紀・丹南・今田)の支援を行う。 <input type="checkbox"/> その他各種団体 市内で活動する補助団体が計画する年間事業が適正に執行できるよう補助を行う。 (補助団体) 西紀音頭保存会／丹南音頭保存会／オペレータークラブ／今田元旦マラソン実行委員会／ 篠山少年少女合唱団／篠山市サギソウ保存会／小中学生ふれあい俳句大会／丹波ささやま人形 劇フェスタ実行委員会

## 【貸館・施設管理事業】

<b>事業名</b>	<b>社会教育施設管理【継続】</b>
<b>現状</b>	□施設利用者が公民館施設・体育施設を快適に利用できるよう、適切な施設の管理及び運営を行う。
<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 以下の施設の適切な管理及び運営を図る。 (会議・研修室等) 四季の森生涯学習センター(西館・東館)、城東公民館 (ホール) 四季の森生涯学習センター多目的ホール (体育館) 海洋センター、西紀体育館、川代体育館、今田体育館、健康増進センター (グラウンド・テニスコート) 城東グラウンド、四季の森運動公園グラウンド、今田グラウンド、城東多目的広場、三の丸多目的広場、川代多目的広場、丹南テニスコート、今田テニスコート (キャンプ場) 筱見四十八滝キャンプ場

<b>事業名</b>	<b>学校施設使用料の管理【継続】</b>
<b>現状</b>	□小中学校長の使用許可に基づき、学校施設(グラウンド・体育館等)使用料の収納及び督促等を行う。
<b>方向性</b>	□使用許可書に基づき、使用料を適正に徴収する。